

(別添) 「水環境保全活動・自然環境保全活動等功労者表彰」について

全国の河川・湖沼・海域等及びその関連地域で、水質浄化活動、水域美化活動等の水環境保全活動又は植林活動等の自然環境保全活動等を実践している個人、団体、学校等のうち、実績が顕著であり、他地域等での活動の参考となる活動を行っている者の功績を表彰。今年度は2回目。

候補者については、(社)日本の水をきれいにする会に対して、都道府県及び内水面漁業協同組合各県連合会から総数21件の推薦があった。学識経験者等による審査会の審査を経て、今年度の受賞者として次の4者(敬称略)が選定された。

最優秀賞(環境大臣表彰)	1団体
優秀賞(日本の水をきれいにする会会長表彰)	2団体、1人

【最優秀賞】 鴨川を美しくする会

昭和39年の設立以来41年間にわたり鴨川河川敷の清掃等の美化活動に取り組むとともに、他の団体へも河川清掃活動を積極的に呼びかける等指導的な役割を果たしてきた。また、水環境保全意識の普及啓発を目的としたイベントや水質・水生生物調査を行う等多くの人々の水環境保全意識の高揚を図る活動を実施してきている。

【優秀賞】 加治川ネット21

平成8年に発足、15年から特定非営利活動法人として、新発田市を流れる加治川を中心に絶滅危惧種の保全活動、小中学校や各種講演会に講師を派遣する等青少年への環境教育に積極的に取り組んできた。特に、平成14年に新潟県の絶滅危惧種であるイバラトミヨの生息を確認以来、その調査や保全とともに、地域での普及啓発活動に取り組んでいる。

【優秀賞】 ^{かんざわくにお}神澤 邦男

松本市内を流れる穴田川の浄化・美化を目的に、昭和47年、氏が中心になって、流域10町会88事業所の賛同を得て「穴田川をきれいにする会」を結成、会長に就任。以来、同会は氏の強いリーダーシップのもとで、河川清掃や流域事業所との水質汚濁防止協定締結締結等によって水質の向上に努めてきた。これにより、かつては「死の川」といわれた穴田川が、魚や水鳥が生息する清流を取り戻した。

【優秀賞】 出雲市立鱒淵小学校^{いのめ}猪目分校

分校の前を流れる猪目川に生息するカジカガエルの観察や研究を昭和62年から続けており、その研究を通じて猪目川のクリーン活動、水辺の教室や野鳥観察など猪目地区の自然を守る活動に積極的に取り組んできた。また、これら分校児童の活動は先輩から後輩へと引き継がれ、地域の支援を受けながら着実に地域の環境を保全する取組へと広がっている。